

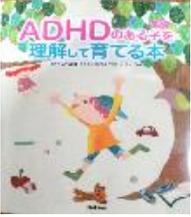
図書

題名	写真	概要
<p>教室の「困っている子ども」を支える7つの手がかり この子はどこでつまづいているのか？</p>		<p>【著者】宮口幸治、松浦直己 【出版社】明石書店</p> <p>【内容】すぐキレる子、授業中立ち歩く子等々、ともするとクラスの“問題児”となる子どもたちを支えるには、教師はどのような考え方・接し方をすればよいのか。①行動面、②感情面、③心理面、④認知面、⑤身体面、⑥保護者協力、⑦支援者連携の7つの手がかりをもとに解説。</p>
<p>子どものための精神医学</p>		<p>【著者】滝川一廣 【出版社】医学書院</p> <p>【内容】発達障害？ アスペルガー症候群？ 知的障害？ 自閉症？ ADHD？ LD？ ところでスペクトラムって何？ 一本書を読めば、錯綜する診断名を「認識と関係の座標軸」のもとに一望できるようになる。読めば分かるように書いてある、ありそうでなかった児童精神医学の基本書。事例の機微をすくい上げる繊細な筆さばき、理論と実践の生き生きとした融合、そして無類の面白さ！ マニュアルでは得られない「納得」がここに。</p>
<p>見える形でわかりやすく TEACCHIにおける視覚的構造化と自立課題</p>		<p>【編集】ノースカロライナ大学医学部精神科TEACCH部 【訳】今本繁 【出版社】エンパワメント研究所</p> <p>【内容】自閉症などの子どもに対して意味をわかりやすく伝えるための手法としての視覚的構造化の基本と応用について解説する。</p>

<p>視覚シンボルで楽々コミュニケーション 障害者の暮らしに役立つシンボル1000 CD-ROM付き</p>		<p>【編】ドロップレット・プロジェクト 【出版社】エンパワメント研究所</p> <p>【内容】ドロップレット・プロジェクトが開発した視覚シンボル「ドロップス」は、親しみやすく分かりやすいデザインと、語彙の豊富さ(ウェブで700語を提供しています)から、多くの教育・福祉の現場や家庭で利用されています。このドロップスに最新語彙300語を追加して、収録したのがこの「視覚シンボルで楽々コミュニケーション 障害者の暮らしに役立つシンボル1000 CD-ROM付き」です。本書の前半には、これから視覚支援を始めようとしている方々のための、基本的なポイントや手順が、具体例を交えてまとめてあります。さらに、ドロップスを使って作れる、VOCAやコミュニケーション・ボードなどの、さまざまなコミュニケーションツールや、ネット上で公開されている便利なツールの活用方法も紹介しています。後半には1000語に及ぶドロップス・シンボルが項目毎に分類されて収録されています。巻末の索引と合わせて活用いただければ、多彩な語彙の中から必要なシンボルが簡単に探し出せます。付属のCD-ROMには、高解像度のドロップス1000語の全データだけでなく、その白黒線画バージョン、背景透過バージョンなども収録され、必要に応じた加工が簡単にできるようになっています。</p>
<p>教室でできる特別支援教育 1分間集中トレーニング</p>		<p>【著者】上嶋恵 【出版社】学陽書房</p> <p>【内容】これらは、私がこれまで実践し効果を確認してきた「見る」「聞く」を中心とした集中トレーニングです。それぞれは1分もあればできるものばかりです。……これらのトレーニングを毎日少しずつでも続けていくことで、学習にスムーズに入れるようになり、問題行動も根本的に改善していくことができます。特別な知識が十分でないと思っていらっしゃるあなたも、今までかなりの勉強をされてきたあなたも、この指導を実践してみてください。その効果に驚かれると思います。[プロローグ:人生を変える力 より]</p>
<p>特別支援教育のプロが 通常学級の気になる子の「困った」を解決します！</p>		<p>【著者】七木田敦 【出版社】学研プラス</p> <p>【内容】巡回相談のプロが、小学校など教育現場から実際に寄せられたお悩みを具体的に解決。事例を通して、クラス全体に有効で、明日から実践できる指導法を紹介。個々子どもの特性を理解し、クラス全体にアプローチすることで、気になる子の力を伸ばすコツがわかる。</p>

<p>気になる子もいっしょに 体育ではじめる学級づくり ソーシャルスキルのつまずきを学級経営に生かす応援プラン109</p>		<p>【編著】阿部利彦、清水由、川上康則 【出版社】学研教育みらい</p> <p>【内容】自分の意見に固執して譲らない、仲間につきい言葉をかける、ルールを自己中心的に変えてしまう… …。 体育の授業で見られるソーシャルスキルのつまずき54 場面に、著者の実践にもとづいた具体的な解決の手だてを「応援プラン」として109 プラン紹介。仲間とかかわり合いながら学ぶ場面がたくさんある体育授業を通して、子どもたちの対人関係のスキルを育て、「共に学び、共に育ち合う学級づくり」を展開するためのヒントが詰まった1冊です！</p>
<p>気になる子の体育 授業で生かせる実例52</p>		<p>【監著】阿部利彦【編著】清水由、川上康則、小島哲夫 【出版社】学研教育みらい</p> <p>【内容】すぐに座り込んでしまう、怖くて跳び箱を跳び越せない、水に顔をつけられない、勝敗にこだわりが強すぎる……。 通常学級の体育で気になる52の場面に、著者が実践している解決プランを厳選紹介。運動ができるようになるためのコツ、教材の工夫、発達障害のある子への配慮など、みんなが満足感を味わえる授業のヒントが満載。</p>
<p>個別の支援が今すぐ始められる 特別支援教育 はじめのいっぽ！</p>		<p>【著者】井上賞子、杉本陽子【監修】小林倫代 【出版社】学研教育みらい</p> <p>【内容】子どもの抱える困難の背景に着目した、学級担任のための特別支援教育入門書。支援の実例満載で、授業にどんどん取り入れていける。付属のCD-ROMで即チェック・支援シートを作成し、豊富なデータベースからその子に合った支援のアイデアを選べる。</p>
<p>特別支援教育 はじめのいっぽ！国語のじかん 通常学級でみんなといっしょ学べる</p>		<p>【著者】井上賞子、杉本陽子【監修】小林倫代 【出版社】学研教育みらい</p> <p>【内容】現場の教師である著者ならではの視点から生み出された、実際に授業で活用している個別の支援のためのアイデア集。小学校低学年国語の「書き」が中心。CD-ROMには、プリントしてすぐ使える国語ワークシートを多数収録。</p>
<p>特別支援教育 はじめのいっぽ！算数のじかん 通常学級でみんなといっしょ学べる</p>		<p>【著者】井上賞子、杉本陽子【監修】小林倫代 【出版社】学研教育みらい</p> <p>【内容】現場の教師である著者ならではの視点から生み出された、実際に授業で活用している個別の支援のためのアイデア集。小学校低学年算数の「数と領域」が中心。CD-ROMには、プリントしてすぐ使える算数ワークシートを多数収録。</p>

<p>特別支援教育 はじめのいっぽ！漢字のじかん80字 個に応じた「漢字の学びの基礎」 が身に付く</p>		<p>【著者】小林倫代、杉本陽子 【出版社】学研教育みらい</p> <p>【内容】漢字学習に躓きのある児童への漢字指導法のエッセンスを教材とともに紹介。1年生の漢字を題材とするが、2年生以上の児童にも有効。「小学1年漢字80字の指導法(考え方、教材、指導のしかた)」を書籍と付属CD-ROMに収めた小学校教員必携の書。</p>
<p>個別の指導計画作成と評価ハンドブック 学習障害(LD)のある小学生・中学生・高校生を支援する</p>		<p>【著者】海津亜希子 【出版社】学研教育みらい</p> <p>【内容】LDのある小学生から高校生までの「個別の指導計画」の基本知識から指導計画の作り方、実際の指導法、指導後の評価方法までを事例を交えて網羅、解説。付属のCD-Rには個別の指導計画書のフォーマットが収録されており、学校現場ですぐに使える。</p>
<p>多層指導モデルMIMアセスメントと連動した効果的な読みの指導</p>		<p>【著者】海津亜希子、杉本陽子 【出版社】学研教育みらい</p> <p>【内容】多層指導モデルMIMの最大の特長は、すべての子どもたちに効果的指導を隅々まで届けるために一人ひとりを丁寧に見ていくアセスメントです。このアセスメントの結果を最大限に活かし、子どもたちの「読み」のつまづきを改善してきた現場の先生の、実践事例に根ざした指導法を紹介するのが本書です。</p>
<p>発達障害のある子どもの視覚認知トレーニング 教室・家庭ですぐできる！</p>		<p>【著者】本多和子 【出版社】学研プラス</p> <p>【内容】読み書き・運動、視覚認知に問題のあると思われる子どもへの簡単なテストや基本～応用別のビジョントレーニングを紹介。子どもに合わせて何をすればよいか分かりやすい。付録CDには、課題プリント40枚以上、ウィンドウズ用ソフトが収録されている。</p>
<p>障害がある子どもの数の基礎学習 量の理解から繰り下がりの計算まで</p>		<p>【著者】宮城武久 【出版社】学研プラス</p> <p>【内容】数概念の基礎となる「同じ」の概念形成から、10までの合成・分解、たし算・ひき算、繰り上がり・繰り下がりの計算まで、学習心理に基づいたスモールステップでの指導方法を図解する。その指導方法は、障害の有無にかかわらず活用できる。</p>
<p>障害がある子どもの文字を読む基礎学習 導入から単語構成の指導</p>		<p>【著者】宮城武久 【出版社】学研プラス</p> <p>【内容】障害がある子どものための基礎学習シリーズ第4弾。ひらがなを読み、単語の意味を理解できるようにするための系統的な指導法を紹介。絵カードや文字カードなどを使ってスモールステップで教えることで、単語を読んだり書いたりできるようになります。</p>

<p>特別支援教育のとおき授業レシピ 「いつ」「なにを」「どのように」数えるかがわかる！</p>		<p>【監修】藤原義博、柘植雅義 【編著】筑波大学附属大塚特別支援学校 【出版社】学研プラス</p> <p>【内容】知的障害教育には教科書がなく「いつ」「なにを」「どのように」教えるかが、常に課題となる。本書は発達に合わせて学習内容を整理した「学習内容表」と、170余の単元計画を収録した、授業づくりの入門書である。</p>
<p>ADHDのある子を理解して育てる本</p>		<p>【監修】田中康雄 【出版社】学研プラス</p> <p>【内容】ADHD(注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害)について、基礎知識・基本的なかわり方、ケース別対応、園・学校・専門機関の活用法など、イラストと図でやさしく解説し、適切に関わり育てていくための最新情報をたっぷり紹介。</p>
<p>ワーキングメモリを生かす効果的な学習支援 学習困難な子どもの指導方法がわかる！</p>		<p>【著者】湯澤正通、湯澤美紀 【出版社】学研プラス</p> <p>【内容】ワーキングメモリは、目的に合わせて必要な情報を常に更新し覚えておく脳の働きのこと。学習困難、集中力がない、やる気がない、指示が入らないなどの原因であることが多い。ワーキングメモリのタイプを知って、その子にぴったりの学習方法を見つけられる本。</p>
<p>入門 特別支援学級の学級づくりと授業づくり 初めての特別支援学級担任のために</p>		<p>【著者】佐藤暁 【出版社】学研プラス</p> <p>【内容】通常教育で経験を積んだ教師でも、自閉症の子どもなどいる初めての特別支援学級の担任をされると、今までの経験が役立たず悩むことも多い。そこで特別支援学級の学級づくりと授業づくりについて、イラストを中心に分かりやすく解説する。</p>
<p>発達障害のある子を理解して育てる本</p>		<p>【著者】田中哲、藤原里美 【出版社】学研プラス</p> <p>【内容】わが子の発達が気になる、発達障害かも？と思ったときに手に取る本。発達障害の子ども(主に0歳-低学年)の特性を理解し、適切に関わり育てていくための情報が満載。発達障害の基礎知識、ケース別対応、園・学校・専門機関の活用法など総合的に理解できる。</p>

<p>聞きとりワークシート1 言われたことをよく聞こう編 ワーキングメモリとコミュニケーションの基礎を育てる</p>		<p>【著者】NPOフトゥーロ LD発達相談センターかながわ 【出版社】かもがわ出版</p> <p>【内容】知識を得たり、物事を学ぶ時、さらに円滑にコミュニケーションをおこなう上で基本となる「聞いて、覚えて、応じる」ことをクイズやゲーム形式で楽しみながら練習できる特別支援教材。聞き取ったことを保持したり、想像することの手掛かりになったり、自分自身で答えを確認し意識化することができるようになるために、ほとんどの解答でイラストを見てフィードバックする形式をとっています。</p>
<p>聞きとりワークシート2 大事なところを聞きとろう編 ワーキングメモリとコミュニケーションの基礎を育てる</p>		<p>【著者】NPOフトゥーロ LD発達相談センターかながわ 【出版社】かもがわ出版</p> <p>【内容】2巻は、対象年齢もあがったことで、学校生活での必要なことばや指示を理解して行動できるようになるための問題も多く盛り込まれています。</p>
<p>聞きとりワークシート3 イメージして聞こう編 ワーキングメモリとコミュニケーションの基礎を育てる</p>		<p>【著者】NPOフトゥーロ LD発達相談センターかながわ 【出版社】かもがわ出版</p> <p>【内容】3巻は子どもの生活場面にあわせた問題設定や会話の状況理解を含めた聞きとり、言われたことを覚えるためのコツを子ども自身が考える問題など高学年も取り組める問題も多く盛り込みました。</p>
<p>SSTワークシート 社会的行動編 あたまと心で考えよう</p>		<p>【編著】LD発達相談センターかながわ 【出版社】かもがわ出版</p> <p>【内容】このワークは、「その人が属している集団(幼稚園、保育園、学校など)の中で求められている適切な言動がとれる技能」が身に付くように、意図的な活動(指導)をするための支援教材です。対象年齢は、年長～中学生くらいまで。通級・通常級の教室、個別指導、家庭などで使っていただけます。</p>
<p>SSTワークシート 自己認知・コミュニケーションスキル編 あたまと心で考えよう</p>		<p>【編著】LD発達相談センターかながわ 【出版社】かもがわ出版</p> <p>【内容】このワークは、「その人が属している集団(幼稚園、保育園、学校など)の中で求められている適切な言動がとれる技能」が身に付くように、意図的な活動(指導)をするための支援教材です。対象年齢は、年長～中学生くらいまで。通級・通常級の教室、個別指導、家庭などで使っていただけます。</p>

<p>SSTワークシート 思春期編 あたまと心で考えよう</p>		<p>【編著】LD発達相談センターかながわ 【出版社】かもがわ出版</p> <p>【内容】学校生活の中で年齢が上がるにつれ、社会性を求められることも多いと思います。修学旅行、メール、異性の問題、部活動、進路や仕事など。今回は、今までの「自己認知スキル」「コミュニケーションスキル」「社会的行動」に加え、「プランニング・自立にむけて」の4つで構成されています。</p>
<p>漢字の基礎を育てるワークシート 1 空間認知編 点つなぎ・図形模写</p>		<p>【著者】一般社団法人発達支援ルームまなび 笹廣みさき、今村佐智子 【出版社】かもがわ出版</p> <p>【内容】「何か違った漢字になってしまう」「きれいに写せてもテストになると思い出せない」「作文に漢字を使えない」など、子どもたちの困っている状態はさまざまで、その困難さの原因を考えて効果的に支援していく必要があります。漢字には、「形」「音」「意味」の3要素があります。まず、そのうちのどこにつまづきがあるのか原因を探ることから始めます。このワークシート1では、形をとるために大切な「空間認知力」を育てます。さらに、形を記憶する練習もします。</p>
<p>漢字の基礎を育てるワークシート 2 漢字の形・読み編 漢字さがし・漢字のまちがい見つけ(1～3年)</p>		<p>【著者】一般社団法人発達支援ルームまなび 笹廣みさき、今村佐智子 【出版社】かもがわ出版</p> <p>【内容】ワークシートのねらいは、「漢字」としての形の特徴や規則性をとらえる、細かい形の違いを確認します。漢字の2つ目の要素である「読み方(音)」も扱います。読み方では、特に訓読みを中心に取り組むことで、3つ目の要素である「意味」にも関連していくことができます。書くのが苦手な子どもたちも同じ漢字を見つけたり、間違いをさがしたりすることで意欲的になり、楽しく感じに組みあわせるワークシートです。</p>
<p>漢字の基礎を育てるワークシート 3 漢字の意味・読み編 読みかえ・同じ読み方(1～3年)</p>		<p>【著者】一般社団法人発達支援ルームまなび 笹廣みさき、今村佐智子 【出版社】かもがわ出版</p> <p>【内容】ワークシートのねらいは、「音・読み」と「意味」です。漢字の読みを学習する場合、意味と関連づけることが重要です。前後の文脈を考えて読んだり書いたりできることをねらいとしています。訓読みから漢字のもつ意味を知り、さらに読み方が変わってもその意味は同じことを示すとわかっていきます。そうすると、意味を考えて漢字を選ぶことができるでしょう</p>

<p>特別支援教育 簡単手作り教材BOOK ちょっとしたアイデアで子どもがキラリ☆</p>		<p>【編著】東濃特別支援学校研究会 【出版社】クリエイツかもがわ</p> <p>【内容】授業・学校生活の中から生まれた教材だから、わかりやすい！すぐ使える！「うまくできなくて困ったな」「楽しく勉強したい」という子どもの思いをうけとめ、「こんな教材があるといいな」を形にした手作り教材集。「ちょっとしたアイデアで子どもはキラリと輝く！」先生たちのアイデアと子どもへの気持ちがつまっています。せいかつ、しごと、からだ、みる・きく・さわる、ことば・かずの5つにカテゴライズ。学校で、家庭で使える教材125例。巻末には発達段階ごとにつけていきたい力を系統的に整理したオリジナルキャリアプログラムを収録。それぞれの教材と連動しています。</p>
<p>子どもの見方がかわるICF 特別支援教育への活用</p>		<p>【著者】西村修一 【出版社】クリエイツかもがわ</p> <p>【内容】特別支援学校の学習指導要領で、自立活動の指導にICF(WHO障害の概念・国際生活機能分類)の考え方に触れ、個別の教育支援計画の作成、関係機関との連携にICFを参考にすることが示された。ICFをベースに開発したオリジナルのチェックシートにもとづき、子どもの状態や状況をどのように捉え、指導に生かしていくのか、具体的な活用方法を提案する。</p>
<p>発達障害に気づいて・育てる完全ガイド</p>		<p>【著者】黒澤礼子 【出版社】講談社</p> <p>【内容】発達障害はかならず改善できる！2007年度からの特別支援教育に対応！教育現場の「困った！」に応じて専門家がつくった、初めての記入式シートと事例集で、子どもの傾向と接し方がわかる</p>
<p>LDの子の読み書き支援がわかる本</p>		<p>【監修】小池敏英 【出版社】講談社</p> <p>【内容】発達障害のひとつLDは、脳機能のかたよりによって学習上の困難が起こっている状態です。そのなかでも読み書きの困難はディスレクシアといわれます。原因は先天的な脳機能のかたよりで、本人の努力不足ではありません。がんばっても結果が出ないことが続くと勉強してもむだだと思ってしまうがちです。親や先生も「勉強が苦手な子」だと考え、学習面では無理をさせないようにすることがあります。困難が続けば、読み書きを避けるのも仕方がないのかもしれませんが、あきらめしないでください。読み書きが苦手な子には、その子に合った学び方が必ずあります。この本では読み書き支援の具体的なアイデアを多数紹介しています。家庭でも学校でも、今日から実践できるものです。学び方を見直すためのヒントとして活用してください。</p>

<p>発達障害の子のビジョントレーニング</p>		<p>【監修】北出勝也 【出版社】講談社</p> <p>【内容】勉強や運動が苦手なのは見え方に原因あり！ADHD、LDの子に多い視覚の障害。訓練しだいで物を上手に見る力がつき、自信が育つ。教育現場でも注目された視覚支援のためのトレーニング法を徹底図解</p>
<p>S.E.N.S養成セミナー 特別支援教育の理論と実践 Ⅰ 概論・アセスメント</p>		<p>【編】一般財団法人特別支援教育士資格認定協会 【監修】竹田契一・上野一彦・花熊 暁 【出版社】金剛出版</p> <p>【内容】特別支援教育の対象となった発達障害について、その定義や医学的視点からみた特性、さらに支援のための制度について示す。また、アセスメントに関して、各種検査結果と行動観察から子どものつまずきを理解し、ニーズを把握して、具体的な指導計画を作成していくプロセスについて述べる。近年改訂のあった心理検査についても、実施と解釈、指導へのつなぎかたを、最新の情報をもとに解説する。</p>
<p>S.E.N.S養成セミナー 特別支援教育の理論と実践 Ⅱ 指導</p>		<p>【編】一般財団法人特別支援教育士資格認定協会 【監修】竹田契一・上野一彦・花熊 暁 【出版社】金剛出版</p> <p>【内容】特別支援教育の根幹となる「個に応じた支援」について、子どものつまずきへの気づき・アセスメントから個別の指導計画の作成・実施までの支援の全体像を示す。「読み」「書き」「計算する」など、つまずきの内容に応じた指導教材や支援の実際についてそれぞれ解説する。発達障害のある子どもにみられる「ソーシャルスキル」「行動面」「感覚と運動」のつまずき、「就労の指導」についても同様に述べる。</p>
<p>S.E.N.S養成セミナー 特別支援教育の理論と実践 Ⅲ 特別支援教育士の役割・実習</p>		<p>【編】一般財団法人特別支援教育士資格認定協会 【監修】竹田契一・上野一彦・花熊 暁 【出版社】金剛出版</p> <p>【内容】特別支援教育の中心を担うS.E.N.Sには、その状況に応じてさまざまな役割が求められる。そこで、対人援助職としての倫理をはじめとして、通常の学級における支援、特別支援教育コーディネーターとして校内外の支援者との協働、保護者との関わりについて解説する。S.E.N.S養成セミナーの総仕上げともいえる指導実習については、その内容、目的、達成すべき目標について述べる。また、巻末にはS.E.N.S関係資料を付す。</p>
<p>特別支援教育充実のための キャリア教育ガイドブック</p>		<p>【編著】国立特別支援教育総合研究所 【出版社】ジアース教育新社</p> <p>【内容】特別支援教育におけるキャリア教育の最前線がわかる。知的障害のある児童生徒のキャリア教育を支援するため新たなツールの提案</p>

<p>特別支援教育充実のための キャリア教育ケースブック 事例から学ぶキャリア教育の考え方</p>		<p>【編著】菊地一文 【出版社】ジアース教育新社</p> <p>【内容】キャリア教育の概念に基づき、児童生徒、教員、学校、保護者、地域等をどのように捉え、どのように理解すればよいか——。各校の指導内容・指導方法を参考に、キャリア教育の共通理解を図り、日々の教育活動を見直し、児童生徒一人一人のキャリア発達支援の在り方を考えるためのケースブック。キャリア教育の概念に基づいた授業の実践事例を、小学部・中学部(学校)・高等部の各段階で紹介。このほか、学校全体での組織的な取組や地域の関係諸機関との連携・協働による取組、今後のキャリア教育の充実に向けた提言などを収録。『特別支援教育充実のためのキャリア教育ガイドブック』の続編。</p>
<p>個別支援に応える算数ワーク 図形編 小学校低学年 ～苦手な子でも、ぐんぐん伸びる！～</p>		<p>【著者】大森修 【出版社】小学館</p> <p>【内容】発達障害のある子どもを含め、苦手な子の抱える「困難さ」を、作業を通じて克服させる工夫を随所に凝らした算数ワークです。小学校現場で、算数指導と特別支援教育のエキスパートが協力して執筆、大森教授が個別の子どもの様態を提示しつつ監修し、丁寧に仕上げたものです。まずはもっともニーズの多い「低学年」を対象としてリリース。 全ての特別支援教育関係者必携の1冊です。</p>
<p>小学生の読み書きスクリーニング 検査 —発達性読み書き障害(発達性 dyslexia)検出のために—</p>		<p>【著者】宇野彰、春原則子、金子真人、Taeko N. Wydell 【出版社】インテルナ出版</p> <p>【内容】発達性読み書き障害(発達性dyslexia)の検出を目的とした日本で初の検査！学習障害の中核障害である「発達性読み書き障害(発達性dyslexia)」を診断評価するために必要な学習到達度検査である。読み書きに関して通常の小学校に通う約1,200名のデータをもとに基準値を作成した。また、レーヴン色彩マトリックス(RCPM)や標準抽象語理解力検査(SCTAW)との関連についても記載されている。学習障害と同様、今まで客観的な評価基準がなかった小児失語症の読み書きの評価においても有用である。</p>

<p>天才ドリル 立体図形が得意になる点描写</p>		<p>【編】認知工学 【出版社】ディスカバー</p> <p>【内容】「点描写」とは、一言でいえば、格子状の点と点を結んで、手本どおりに図を描かせるものです。ただ図形を写すだけのことですが、継続して取り組むことにより、1立方体などの立体図形の感覚が養成できるほか、2点と点を結ぶ作業により、運筆の練習ができると同時に、3図の位置と形を一時的に記憶することで、短期記憶を訓練できる、などの効果が期待できます。また、4複雑な図形を正確に写すことで、単純な計算ミスや書き写しのミスが減らすよい練習にもなります。本書は、平面で立体図形をイメージする練習として制作していますが、実際の指導では、展開図から立体図形をつくらせると、理解がしやすくなります。お子さんがご指導に納得していないようでしたら、巻末の展開図や紙粘土などを使って実際に模型をつくってみてください。「平面の見取り図や展開図」→「頭の中のイメージ」→「具体的な立体模型」→「平面の見取り図や展開図」のサイクルを繰り返して、はじめて理解できることは多いし、それが立体感覚を養成する最も早い方法だということもわかります。</p>
<p>天才ドリル 立体図形が得意になる点描写【神童レベル】</p>		<p>【編】認知工学 【出版社】ディスカバー</p> <p>【内容】点描写とは、一言でいえば、「格子状の点と点を結んで、手本どおりに図を描かせるもの」です。ただ単純に、図形を写すだけのことですが、継続して取り組ませることで、①立方体などの立体図形の感覚が養成できる、②点と点を結ぶ作業により、運筆の練習ができる、③図の位置と形を一時的に記憶することで、短期記憶を訓練できる、④複雑な図形を正確に写すことで、単純な計算ミスや書き写しのミスが減らせる、などの効果が期待できます。また、本書は、平面で立体図形をイメージする練習としてつくっていますが、実際のご指導では、展開図から立体図形をつくらせると、理解が早くなります。お子さんがご指導に納得していないようでしたら、巻末の展開図や紙粘土などを使って実際に模型をつくってみてください。「平面の見取り図や展開図」→「頭の中のイメージ」→「具体的な立体模型」→「平面の見取り図や展開図」のサイクルを繰り返して、はじめて理解できることは多いものです。それが立体感覚を養成する最も早い方法です。</p>

<p>天才ドリル 平面図形が得意になる点描写 線対称</p>		<p>【編】認知工学 【出版社】ディスカバー</p> <p>【内容】「点描写」とは、基本的には、格子状の点と点を結んで、手本と同じように図を描くことです。点と点を結ぶ作業は運筆の練習になるほか、図の位置や形を一時的に記憶することで、短期記憶の訓練にもなります。また、集中して取り組むことで、単純な計算ミスや書き写しのミスを減らせる効果もあります。本書は、「平面図形」の点描写を通じて、図形のセンスを磨くためのものです。平面図形というと、小学生がつまずきやすいポイントとして、複雑な形の面積、角度、線対称・点対称があげられます。このうち「線対称・点対称」は、図形問題全体に対する基礎力を養うのに格好の題材です。線対称は、鏡やガラスなど、身近なものを使えば、比較的簡単にイメージすることができますが、点描写することによって、左右が対称であるという線対称の意味と感覚を身につけることができます。また、特に訓練をしない限り、図形を正確に描くことは難しいものです。そのため本書は、線対称の図形を繰り返し描くことで、細かな違いに目をやることができるようになり、正確な図形が描けるようになることを目的としてつくりました。</p>
<p>1日5分 教室で使えるコグトレ 困っている子を支援する認知 トレーニング122</p>		<p>【著者】宮口幸治 【出版社】東洋館出版社</p> <p>【内容】学習への取り組み、感情のコントロール、人との接し方……発達障害に限らず、学校で困っている子どもは学習・生活面で共通した課題を持っています。そういった子どもたちの課題に、認知面で背景から支援するのがコグトレです。コグトレは、学習面・社会面・身体面という3つの観点からアプローチすることで、子どもたちの課題に包括的に応え、支援を通して能力の向上を図ることができるトレーニングです。本書では、クラスでコグトレを実施するための全122ワーク・全157回分を収録し、一年をかけて子どもを支援していくことができます。困っている子だけでなく、クラス全体で互いに楽しみながら認知の能力を育み、子どもたちの困りを解消していくために最適なトレーニングです。もちろん、個別に支援が必要な子どもに特化した使い方も紹介しています。</p>
<p>数字の感覚やコミュニケーション 力を身につける！ たのしいすごろくランド</p>		<p>【作画】京田クリエーション 【出版社】永岡書店</p> <p>【内容】ページごとに、さまざまな面白いテーマで展開する、すごろくブックです。すべてのページが観音開きなので、大きく開いて遊べます。カードを使って遊ぶすごろくや、英語や、ものの名前をおぼえる知育性のあるすごろくなども入り、バラエティー溢れる1冊。お子さまとのコミュニケーションツールとしても、オススメです！</p>

<p>今日の治療薬2018 解説と便覧</p>		<p>【編】浦部晶夫、島田和幸、川合眞一 【出版社】南江堂</p> <p>【内容】薬効群ごとに解説と便覧で構成したベストセラー。2018年版では、発刊40周年を迎え、便覧の冒頭に、各薬効群の特徴を一目で理解できる「薬剤の特徴ガイド」を新設。便覧ではさらにジェネリック医薬品の薬価幅を掲載し、妊婦の安全性情報も追加。解説はデザインを一新し、主要なガイドラインや主な新薬を冒頭にまとめて掲載。より読みやすく、ますます使いやすい。</p>
<p>ディスレクシア入門 「読み書きのLD」の子どもたちを支援する</p>		<p>【編著】加藤醇子 【出版社】日本評論社</p> <p>【内容】小中学校の教員、保護者必携！読み書きの難しさのメカニズム、支援の実際、具体的な対応方法を多職種の専門家がやさしく解説する、待望の入門書。</p>
<p>未来を切り開く学力シリーズ 小河式プリント中学数学基礎篇 改訂新版</p>		<p>【著者】小河勝 【出版社】文藝春秋</p> <p>【内容】『学力低下を克服する本』で陰山英男先生とタッグを組んだ、ベテラン中学教師である小河勝先生のプリント集第一弾。新指導要領下の子どもたちは、四則計算の練習が圧倒的に不足していて、中学一年生の九割が小学校段階の算数で何らかのつまずきを抱えている。だから、学年ごとにわけられた既存の数学問題集ではなかなか成果が上らなかつたはず。しかし、このプリントでは「小河式算数チェックテスト」で自分の弱点を知り、小学校段階のつまずきを手当てしながら一次方程式の文章題までを一カ月で確実に習得できる。</p>
<p>コグトレ みる・きく・想像するための認知機能強化トレーニング(プリントして使えるCD付き)</p>		<p>【著者】宮口 幸治 【出版社】三輪書店</p> <p>【内容】コグトレとは、認知機能に含まれる5つの要素(記憶、言語理解、注意、知覚、推論・判断)に対応する、「覚える」、「数える」、「写す」、「見つける」、「想像する」力を伸ばすための、紙と鉛筆を使ってできるトレーニングです。主に認知機能に弱さがみられるお子さんを対象にできてありますが、幼児の早期教育、小・中・高校生への学習補助、高齢者の認知症予防、統合失調症や高次脳機能障害の認知機能リハビリテーション等にも幅広く利用可能です。本書では、コグトレの使い方や効果的な進め方、学校現場やご家庭でできる認知機能の弱い子どもを見つけるスクリーニング検査、効果検証なども紹介しています。付録のCDには800題以上のトレーニングを収録しており、これ1冊があれば先生方やご家族も一緒に取り組めます。</p>

<p>不器用な子どもたちへの認知作業トレーニング よくわかるDVD付き</p>		<p>【編著】宮口 幸治、宮口英樹 【出版社】三輪書店</p> <p>【内容】発達障害や知的障害をもつ子どもたちの中には、身体的不器用さを併せもつ子どもがいる。不器用ゆえに身体を使った作業が難しく、周囲とうまくなじめない子どもも少なくない。自分ではどうしようもないもどかしさ。認知作業トレーニング(Cognitive Occupational Training:COGOT)はそうした不器用な子の支援のために考案されたプログラムである。本書は7つのモジュールから成るトレーニングを豊富なイラストとともに紹介し、さらに実演DVD(75分)で理解を深めることができるようになっている。作業療法、特別支援教育の場のみならず、広く一般教育でも使用できる希望の一冊。</p>
<p>いーらぼステップワーク1 10歳からのことばトレーニング</p>		<p>【著者】山崎衛 【出版社】マインEラボスペース</p> <p>【内容】小学4年生、おおむね10歳にさしかかる頃から国語をはじめとして抽象的な内容の学習が増え、日常・集団生活の場面でも、自分の気持ちの言語化、状況の的確な説明など、“ことばの基礎力”を求められることが増えていきます。発達に凸凹のあるお子さんが、とくにつまずきやすいこうした「ことば」に関する課題に焦点をあて、集中的にチェック&サポートするのがこの「10歳からのことばトレーニング」です。</p>
<p>いーらぼステップワーク2 つまずき克服チャレンジ読むカトレーニング</p>		<p>【著者】山崎衛 【出版社】マインEラボスペース</p> <p>【内容】「算数の文章題が苦手」「読んであげると分かるのに自分で読むと解けない」「聞かれていることと違う答えを書く」などの困難を抱えるお子さんを対象に、読んで考える力や、読んで関係性をとらえる力、読んでイメージする力など、すべての学習や生活の基礎を支える「読む力」を伸ばすためのワーク型教材です。大切な基礎力をスモールステップで育めるよう、難易度の異なるさまざまな文章題を取り入れました。</p>
<p>いーらぼステップワーク3 10歳からのソーシャルスキルトレーニング</p>		<p>【著者】山崎衛 【出版社】マインEラボスペース</p> <p>【内容】「ルールが身につかない」「すぐにトラブルを起こしてしまう」「人の気持ちが分からない」など、社会性やコミュニケーション上の悩みを抱えているお子さんのための1冊です。学校や家庭などで起こりがちな9つのストーリーと判断に迷いやすい社会的場面を集めた6つのワークを収録。質問に答えて終わりではなく、答えを出発点にお子さんや支援者の方が対話しながら気づきや理解を深めていくことをめざす「対話型教材」です。学校や療育現場で、お子さんの特性に合わせてご活用ください。</p>

<p>いーらぼステップワーク4 読むカトレーニング基本編</p>		<p>【著者】山崎衛 【出版社】マインEラボスペース</p> <p>【内容】「学年の低い子のワークを」とのご要望に応じて誕生した「読んで考える力を伸ばす」ワーク集の『基本編』。 ひらがな・カタカナが読めるようになったらすぐに取り組めます。読むことが苦手な子、読むことに慣れていない低学年児の基礎固めに好適。ワーキングメモリーや情報の整理等、読む力の基礎を画ランス良く高めます。</p>
<p>いーらぼステップワーク5 算数トレーニング 数の基礎・計算編</p>		<p>【著者】山崎衛 【出版社】マインEラボスペース</p> <p>【内容】数のとらえかたや計算の基礎をスモールステップで復習するためのワーク集です。「次の単元につながる復習」「生活スキルを向上させるための復習」をポイントに、特別支援教育の成果も取り入れながら作成しています。「既存の問題集ではなかなか身につかない」「計算に時間がかかる」「式が立てられない」、そのような算数が苦手なお子さんに最適の1冊です。</p>
<p>いーらぼ発達支援テキスト1 聞くカトレーニングブック</p>		<p>【著者】山崎衛 【出版社】マインEラボスペース</p> <p>【内容】「2つ言うと1つ忘れる」「見ていたのに聞いていない」…発達に凹凸のあるお子さんには、このように「聞く」ことが苦手という子が少なくありません。学齢期になると、指示や説明を聞いて行動する場面や、聞いたことから考える場面が多くなり、「聞くカ」が学習や人間関係のつまずきにつながっている場合が多くあります。こうしたさまざまな「聞くカ」の困難にねらいを絞り、じっくり育てるための読み聞かせ型教材です。</p>
<p>いーらぼ発達支援テキスト2 聞くカトレーニングブック2</p>		<p>【著者】山崎衛 【出版社】マインEラボスペース</p> <p>【内容】大好評をいただいた前作『聞くカトレーニングブック』の続編。前作のコンセプトはそのままに、伸ばしたい力のターゲットをより明確に絞りながら、豊富な問題を収録して構成しています。「待ち合わせの時に覚えておくこと」「持ち物の指示」など、より実践的な「聞く」スキルを鍛える問題も多く収録。聞き取って口頭で答えるだけでなく、メモを取る学習にも活用できます。聞くための姿勢づくりや生活のスキルアップにつながる決定版です。</p>

※かもがわ出版の書籍につきましては、出版社のHPにも詳しく載っています。併せてご覧ください。